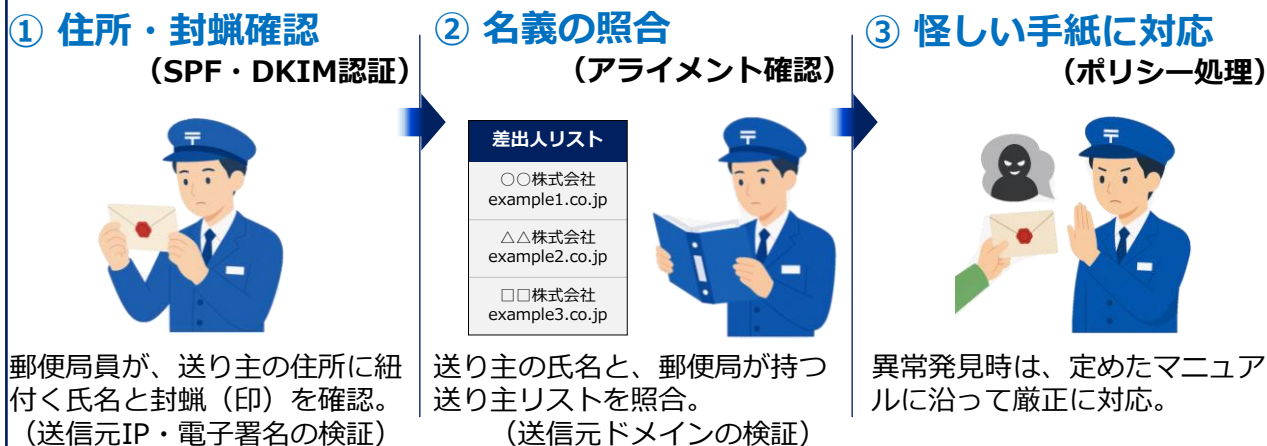


あなたの会社のメール、 「誰でも名乗れる状態」になっていませんか？

DMARCは、自社ドメインを悪用したなりすましメールから
顧客・取引先・自社ブランドを守る仕組みです。

郵便局にたとえたDMARCの仕組み



DMARCポリシー設定の種類

① None（記録のみ）



記録し、宛先に送付
（＝顧客が受信）

② Quarantine（隔離）



不審物として保管
（＝顧客の迷惑フォルダへ）

③ Reject（拒否）



配達しない
（＝顧客に届かない）

DMARC導入の 主なメリット

顧客・取引先の保護



なりすましによる詐欺や
情報漏えいを防止

ブランド・信頼の維持



自社ドメインの悪用を防ぎ、
企業イメージを守る

メール到達性の向上



迷惑メール判定を減らし、
自社メールを届けやすく

今すぐ
チェック！

設定が「None（記録のみ）」のまま放置されていませんか？

- DMARCポリシーの設定（Noneのままか？）を確認する。
- レポートを確認し、自社ドメインを名乗るメールを把握する。
- 把握できたら、Quarantine又はRejectへの移行を検討する。